



# ふたば

平成29年7月5日  
甲府市立千塚小学校  
No. 8 文責:校長 中國

学校教育目標  
心豊かで  
たくましい子ども

## 県内初のプログラミング教育

6月20日(火)千塚小学校6年生70名を対象に山梨県では公立小学校、初めてとなる「プログラミング教育」の授業が実施されました。プログラミング教育は2020年度より必修化され、小学校ではプログラミングの楽しさを体験させることが重視されます。今回の授業でも、人型ロボットペッパーくんをしゃべらせたり、動かしたりする中でプログラミングを楽しく学習することができました。

県内初ということで当日は、樋口雄一甲府市長様・長谷川義高甲府市教育長様・松田昌樹甲府市義務教育課課長様など多くの方々が視察に来られたり、テレビや新聞などの報道関係者も取材に来られたりと賑やかな状況でしたが、子ども達は集中して作業に取り組んでいました。その時の様子は、甲府市の「市民・学生・職員ブログ」に詳しく掲載されています。ぜひご覧ください。本紙裏面もご覧ください。



写真は、6年1組の授業風景。新聞は、すべて6月21日付



山梨日日新聞

児童がプログラミング体験

甲府市は20日、千塚小で人型ロボット「Pepper(ペッパー)」を使ったプログラミング教室を開いた。児童はパソコンを使ってペッパーを操作し、ロボットが動く仕組みを学んだ。県内の公立小中学校では初めての取り組み。

情報サービス業の電算(長野市、轟一社長)の協力で開き、同校の6年生約70人が参加。同社のシステムエンジニアから情報サービスの仕事について聞いた後、ペッパーを用いたプログラミング体験をした。児童はパソコンの画面にプログラムを入力し、ペッパーに「甲府の良いところの水がうまい」や「ほうとうめい」などから小学校のプログラミングとしゃべらせた。松本幹太君は「プログラミングは初めて。専門家になった気分が楽しかった」と話していた。

千塚小、必修化見据え

教室は、2020年度から小学校のプログラミング教育が必修化されることを見据えて開いた。市は他の小学校でも同様の教室を検討しているという。

スマホで動画 MOVIE

プログラミングによってロボットを操作する児童 一甲府・千塚小

# ロボット「ほうとう、うめえー」 甲府・千塚小でプログラミング教室



人型ロボットへのプログラミングを体験する児童ら—20日、甲府市千塚（昌林龍一撮影）

甲府市立千塚小（同市千塚）で20日、人型感情認識ロボット「Pepper（ペッパー）」を使ったコンピュータプログラミング体験教室が行われた。6年生の約70人が自分たちで考えた言葉をプログラミングし、ロボットに話させた。

市教委によると、情報通信技術（ICT）活用策として、平成32年から小学校でプログラミング教育が必修化されるのに先駆け、論理的な思考や問題解決力を高めるため実施した。県内公立校では初めてという。児童は6つのグループに分かれ、情報サービス会社の社員からプログラミングの方法を学び、3台のペッパーに求める動きと言葉を入力した。

ペッパーは「ほうとう、うめえー」と言ったり、動作を交えてお笑いグループのギャグをまねるなどし、歓声がわき上がった。加賀美元直くん（11）は「面白い言葉を考える過程が楽しかった」、吉澤侑里さん（11）も「言葉と動きを調和させるようにした」と体験の感想を語った。

言葉 響き 楽し 声

## ペッパー しゃべった！



ペッパーを使ったプログラミング教室

千塚小でプログラミング教室

甲府市は20日、同市千塚小学校では初めての取り組み。市立千塚小学校で、人型ロボット「ペッパー」を使ったプログラミング教室を、小学校で2020年度から「プログラミング教育」が必修化されるのを受けて開いた。県内の公立小中



企画。長野県内の学校でペッパーを使った出前授業を行っている情報サービス会社「電算」（長野市）の社員が講師を務め、6年生約70人がプログラミングの基礎を学んだ。

児童らはパソコンの専用ソフトを使い、ペッパーが話す言葉を文章で入力。入力した通りに、ペッパーが「おはよう」「ほうとうがうまい」など言葉を発すると、児童らは歓声を上げて喜んでいた。

参加した角田琉未さん（12）は「少し難しく感じたけど、ペッパーがいたから

楽しく学べました」と笑顔で話していた。

